

独立行政法人国立病院機構八戸病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年 9月 策定

【国立病院機構八戸病院の基本情報】

医療機関名：独立行政法人国立病院機構八戸病院

開設主体：独立行政法人国立病院機構

所在地：青森県八戸市吹上3丁目13番1号

許可病床数：150床

（病床の種別）一般病床（重心100床、一般50床）

（病床機能別）慢性期

稼働病床数：150床

（病床の種別）一般病床

（病床機能別）慢性期（重心100床、一般50床）

診療科目：内科、循環器内科、神経内科、小児科、リハビリテーション科

職員数：平成29年9月1日現在

- ・ 医師 4名
- ・ 看護職員 108名
- ・ 専門職 30名
- ・ 事務職員 8名

【１．現状と課題】

① 構想区域の現状 ※青森県地域医療調整会議資料から引用

(１) 八戸地域の人口及び高齢化の推移

平成２２年（２０１０年）約３３５千人の人口に対し、平成３７年（２０２５年）には約２９０千人と１５年で約４５千人、１３％強の人口減少となる予測である。

７５歳以上の高齢化率は、平成２２年で約４０千人、全体の約１２％に対し、平成３７年には約１８千人増加し、約５８千人、全体の２０％程度となる予測である。

特筆すべきは、全体人口が１５年で１３％強減少する予測ながら、６５歳～７４歳の人口が５％程度の人口増となる予測であり、若年世代が大きく減少する一方で、高齢者は着実に増加する予測となっている。

(２) 八戸地域の医療需要の推移

(１)の人口及び高齢化の変化により、医療需要見込は急性期が１０％程度の増、回復期が１５％程度の増、慢性期が３５％程度の減となる予測である。

(３) 地域の医療需給の特徴

八戸地域には、中心部に５００～４００床程度の急性期中規模病院が併存（八戸市立市民病院一般５５２床、青森労災病院一般４７２床、八戸赤十字病院一般３７４床）しており、診療機能の重複並びに医師不足による機能低下が見られる。八戸中心部の周りには療養病床を除き急性期を担う小規模の自治体病院等（三戸中央病院一般９５床・療養４９床、五戸総合病院一般１６７床、南部町医療センター一般２６床・療養４０床、おいらせ病院一般７８床）があるが、人口減少による病床稼働率の低下が著しい状況にある。

② 構想区域の課題 ※青森県地域医療調整会議資料から引用

(１) 高度急性期

現状では、八戸市立市民病院及び青森労災病院の合計８８床のみであり、平成３７年度必要数３２３床を大きく下回っているところである。青森県の地域医療構想計画では、地域の中核病院として、八戸市立市民病院に機能転換を要請している。

(２) 急性期

現状では、八戸地域で計１，９５８床を有しており、平成３７年度必要数１，１２２床を８３６床上回っているところである。

これにより、青森県地域医療構想計画では、(１)のとおり２３５床を高度急性期へ、残り６０１床を回復期及び慢性期へ機能転換するよう、次のとおり要請している。

ア 中核病院

八戸市立市民病院、青森労災病院及び八戸赤十字病院における診療機能が重複しているため、八戸市立市民病院には高度急性期へ、青森労災病院及び八戸赤十字病院には回復期機能への転換を要請している。

さらに、中核病院相互間の連携推進並びに圏域内自治体病院等への支援を要請している。

イ 小規模の自治体病院等

八戸中心部の周りにある小規模の自治体病院等は、人口減少による病床稼働率低下が著しいため、病床規模の縮小、回復期・慢性期への機能分化を要請している。

さらに、アの中核病院との連携体制の構築、在宅医療の提供、へき地医療提供体制の整備を要請している。

(３) 回復期

現状では、八戸地域で計３８９床を有しており、平成３７年度必要数１，０８２床を６９３床と大きく下回っているところである。

(２)のとおり、青森県地域医療構想計画では急性期からの転換を要請しているが、小規模の自治体病院等の病床稼働率は南部町医療センターの９５．１％を除き

三戸中央病院が44.6%、五戸総合病院が65.0%、おいらせ病院が67.7%であり、(2)のとおり601床をすべて回復期に機能転換しても充足は難しいものとする。

(4) 慢性期

現状では、八戸地域で計769床を有しており、平成37年度必要数704床を65床超過しているところである。

しかし、現有769床には、青森労災病院の50床及び南部町医療センターの40床も含まれており、両病院とも急性期を担っている医療機関であり、青森県地域医療構想計画では急性期を担う病院としての位置付けは変わらないこと。現状で回復期と慢性期の境目は微妙であること。青森県地域医療構想計画上でも慢性期病院に対する具体的な要請はない。

以上から、青森労災病院及び南部町医療センターの慢性期病床の転換は要請されるものとするが、当院の医療機能を考えると転換の要請はないものとする。

③ 自施設の現状

(1) 基本理念等

○基本理念

私たちはすべての患者さまとご家族に
信頼され満足していただける
確かな医療と生活支援をめざしております

○基本方針

- 一 病院組織の運営と地域における役割を果たします
- 二 患者さまの権利と安全の確保に努めます
- 三 療養環境と患者サービスに努めます
- 四 診療の質の確保に努めます
- 五 看護の適切な提供をいたします
- 六 病院運営管理の合理化に努めます

(2) 診療実績

○届出入院基本料

障害者施設等入院基本料 7 対 1

○平均在院日数

平成 28 年度 240.2 日

平成 29 年度（8 月末までの実績）177.6 日

○病床稼働率

平成 28 年度 99.8 %

平成 29 年度（8 月末までの実績）99.7 %

(3) 特徴及び担っている医療

当院は、重症心身障害児（者）、脳卒中・神経難病リハビリテーション等の医療を担っている。

当院に入院している重症心身障害児（者）は、超重症や重度の肢体不自由と高度な知的障害を重複している者が多く、八戸地域以外の青森県内からも約 2 割、他県（特に八戸市近隣の岩手県北部地域が多い）からも約 2 割程度入院している。

脳卒中・神経難病リハビリテーションは、近隣の急性期病院等からの要望により、医学的リハビリテーションの二次的医療を行い、機能回復のほか、退院後の生活指導や外来での機能訓練も行っている。

(4) 他医療機関との連携状況

当院は、平成 16 年 6 月に地域医療連携室を設置し、近隣の急性期中規模病院等と連携し、急性期患者の回復期以降の医療を提供するため、可能な限り受入を行っている。

④ 自施設の課題

地域における診療機能の分担等上の課題はないものと考えている。

唯一の問題は、標準医師数を大きく下回っている医師確保だけと考えている。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～④を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

今後とも、地域で求められている現状の診療機能を継続していく。

② 今後持つべき病床機能

現段階では、ないものと考えている。

③ その他見直すべき点

慢性期を担う当院としては、青森県が策定した地域医療構想実現のために診療機能の転換はないものの、在宅医療との連携を強化していくことが求められるものとする。例えば、在宅療養後方支援病院的な機能であるとする。

しかし、現状では病床稼働率ほぼ100%であり、急性期病院との機能分化もうまくいっていることから、大きな環境変化がない限り見直しを求められることはないものと考えている。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4 機能ごとの病床のあり方について
＜今後の方針＞

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期	150床		150床
(合計)	150床		150床

＜年次スケジュール＞

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	自病院の役割について、 地域医療構想調整会議に おいて転換要請がないか を関係者に確認する。		<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block; transform: rotate(-90deg); transform-origin: left top;"> 2年間程度で 集中的な検討を促進 </div>
2018年度	転換要請があれば、具体 的な計画を策定する。	自施設の病床のあり方について 関係者と合意を得る。	
2019～2020 年度	協議の結果を踏まえ具体 的な病床計画を策定する 。	整備計画を策定 着工 完成	<div style="display: inline-block; vertical-align: middle;"> <div style="background-color: orange; padding: 10px; transform: rotate(-90deg); transform-origin: left top; margin-bottom: 10px;"> 第7期 介護保険 事業計画 </div> <div style="background-color: lightgreen; padding: 10px; transform: rotate(-90deg); transform-origin: left top;"> 第7次医療計画 </div> </div>

2021～2023 年度			第8期 介護保険 事業計画
-----------------	--	--	---------------------

② 診療科の見直しについて ※見直さない

検討の上、見直さない場合には、記載は不要とする。

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2025年度)
維持		→	
新設		→	
廃止		→	
変更・統合		→	

③ その他の数値目標について

医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率：99.7%
- ・ 手術室稼働率：—
- ・ 紹介率：45.2%
- ・ 逆紹介率：57.1%

経営に関する項目*

- ・ 人件費率：69.0%
- ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合：0.01%
本部で負担している研究研修費は含まない↑

その他：

* 地域医療介護総合確保基金を活用する可能性がある場合には、記載を必須とする。

【4. その他】

(自由記載)